
「老いも若きも、レクレク音頭」

～高齢者芸能指導者研修会が開催されました～

6月10日、徳島市のあわぎんホールにおいて、芸能指導者研修会が行われ、県下各地域における踊りの指導者等約350名が参加しました。

講師にはお馴染みの花柳淳吾先生（鳴門市）をお招きし、いつもながらの楽しいおしゃべりを交えながら、身振り手振りの分かりやすく、的確な振り付けの指導で研修が進められました。



本年度の課題曲は、徳島県レクリエーション協会の創立30周年を記念して作られ、平成16年度の本研修会の課題曲でもあった「レクレク音頭」が再度取り上げられることになりました。両隣の方と手をつないで踊る動作などもあり、「老若男女を問わず服装にも拘らない、どこでも誰でも楽しく踊れる」をコンセプトとしていることが分かる踊りとなっています。

参加者は、本研修会で学んだことを持ち帰って、それぞれの地域の仲間に振り付けを教えることとなりますので、ひとつひとつの動作のポイントや先生から指摘のあった注意点などを熱心に聞き入っていました。

午後からは、課題曲の復習とあわせて、昨年度の課題曲「鯛網船」や、一昨年度の「半田そうめん音頭」の復習も行われました。さすが各地のリーダーとあって、講師先生が驚くほど、覚えておられるようでした。

最後に来年度の再会を願って、研修会の全日程を終了しました。

